

船舶事故等調査報告書

平成24年5月31日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012横第11号	
事故等種類	運航不能（燃料不足）	
発生日時	平成23年8月7日（日） 11時15分ごろ	
発生場所	三重県志摩市浜島 ^{はまじま} 港南方沖 浜島港灯台から真方位195° 1,407m付近 （概位 北緯34° 16.7′ 東経136° 45.7′）	
事故等調査の経過	平成24年1月31日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	水上オートバイ ^{ファニタ} FANITA、5トン未満（長さ2.0m）	
船舶番号、船舶所有者等	243-27223三重、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	なし	
事故等の経過	<p>本船は、船長が操縦して後部座席に1人を乗せ、平成23年8月7日10時30分ごろ浜島港の岸壁を発し、対岸の志摩市御座白浜まで航行して帰航中、11時15分ごろ、燃料欠乏のため、航行不能となった。</p> <p>本船は、近くで遊走していた水上オートバイに救助されてえい航され、来援した巡視艇に引き継がれて志摩市大矢浜海水浴場に到着した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 西北西、風力 2、視界 良好</p> <p>海象：波高 約0.5m、潮汐 上げ潮の末期</p>	
その他の事項	<p>船長及び同乗者は、救命胴衣を着用していた。</p> <p>本船は、燃料タンク容量が16ℓであり、出発時、満杯であった。</p> <p>本船は、速度計、回転計、油量計などの計器類がなかった。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>あり</p> <p>あり</p> <p>本船は、浜島港南方沖を航行中、燃料が欠乏したことから、運航不能になったものと考えられる。</p> <p>本船は、海面状態により、燃料の消費が多かった可能性があると考えられる。</p>
原因	本インシデントは、本船が、浜島港南方沖を航行中、燃料が欠乏したため、発生したものと考えられる。	
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 航走距離や気象、海象条件を考慮して航海計画を立てること。 	